

やっぱり徳山ダムは要らなかった

過ちを直視しよう

未来につなぐためにこそ

きっぱりと「導水路は要らない」と言おう

徳山ダム導水路は要らない

2023.6.11 近藤ゆり子（徳山ダム建設中止を求める会）

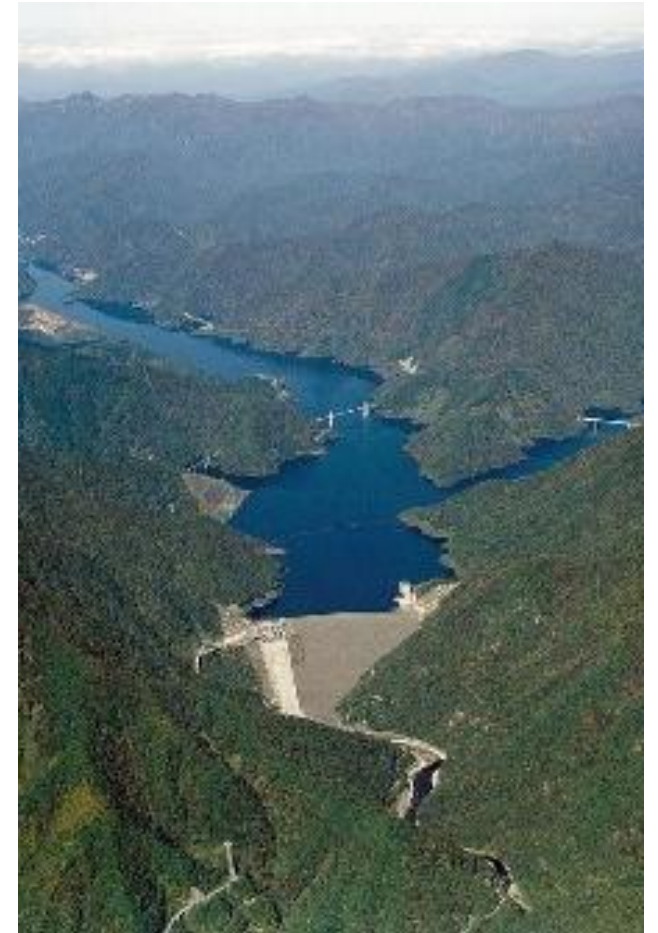
ムダな徳山ダムを造らせたのは？－1

- 1950年代まで 電源開発
1945年以前…朝鮮人強制連行
戦後復興・高度成長…“黒部の太陽”
- 1960年代～
水資源(都市用水)開発
水資源開発促進法(1961年)
- 1973年 オイルショック
→ 低成長時代 (水需要の伸びが鈍化)



ムダな徳山ダムを造らせたのは？－2

- ・河川法改正 “ダム”見直しの動き
1995年 徳山ダム事業審議委員会設置
…「徳山ダム建設中止を求める会」発足
名古屋市「半分返上」
- ・2003年～徳山ダム事業費大幅増額問題
2540億円→3500億円(3328億円)
梶原・岐阜県知事の剛腕
「旧徳山村民は一刻も早いダム完成を望んでいる」は本当か？



ムダな徳山ダムを造らせたのは？－3

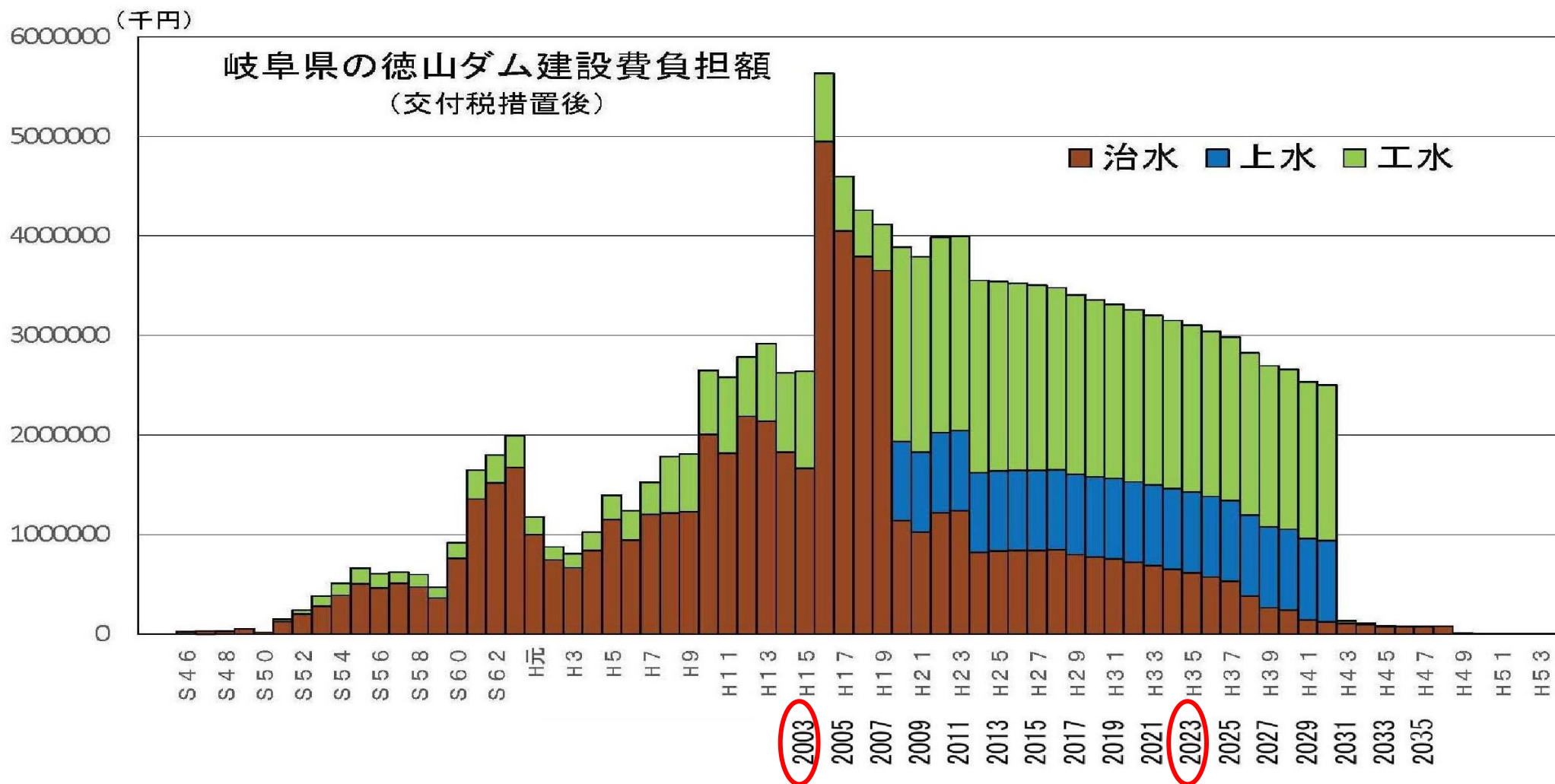


「ダムをつくった
のは、便利さを
求めた僕たち」
…大西暢夫さん



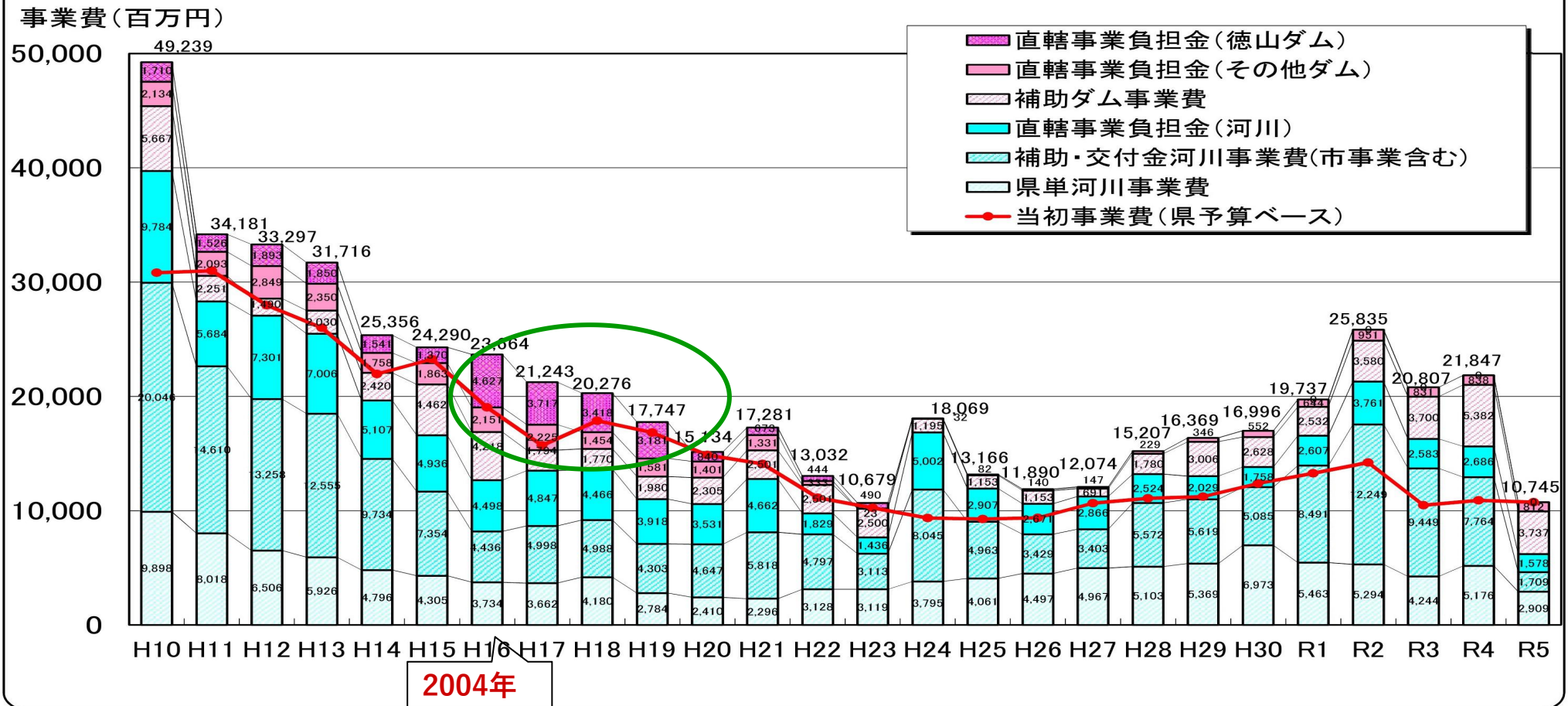
要らない徳山ダムの負担は重い

30億円→



「徳山ダム」は岐阜県の「治水事業」を遅らせた

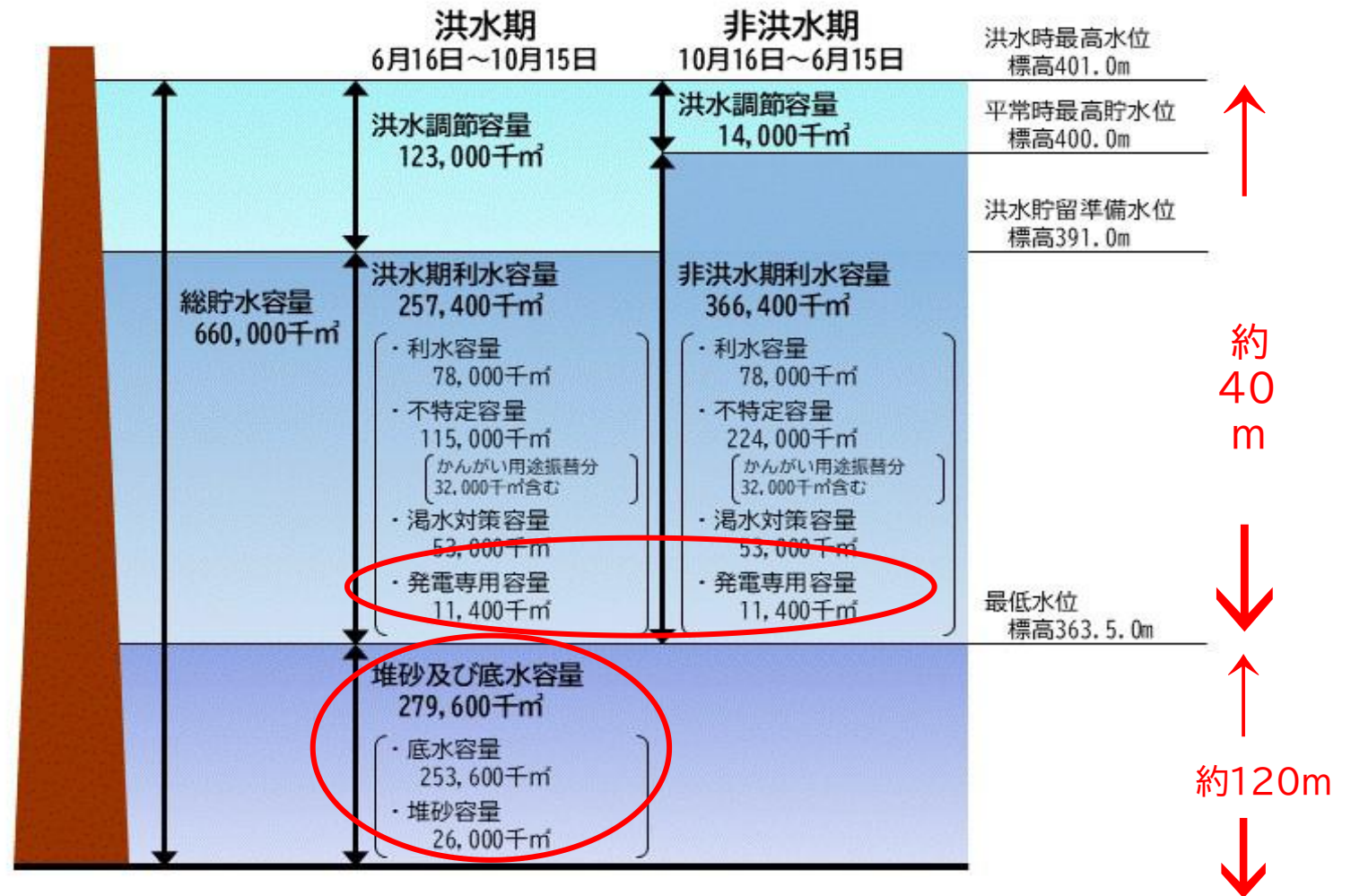
岐阜県 治水関係事業費の推移



徳山ダムの御利益って？－1



堆砂容量2600万 m^3 の他に
「底水容量」として2億
5360万 m^3 。これは「発電
の水位を確保するため」。
約4割が「発電のため」の
容量となっている。



徳山ダムの御利益って？－2

洪水調節

徳山ダムは、ダム地点の計画高水流量 $1,920\text{m}^3/\text{秒}$ の全量の洪水調節を行い、横山ダムと合わせてダム下流域の洪水被害の軽減を図ります。

※100年に1回の確率で発生する可能性のある洪水の最大流量

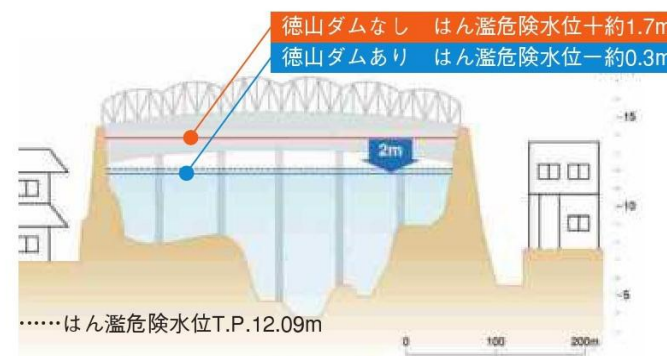


▲揖斐川右岸堤防から揖斐大橋を望む



▲揖斐川右岸堤防から揖斐大橋を望む(平成14年7月)

基準地点万石(河口より約40.6km)における水位低下効果



※計画は、H19までの河川改修の効果を見込んでいる。

※昭和34年9月型洪水

流水の正常な機能の維持

徳山ダムは、河川の流量が不足しているときにダムから貯留水を補給することによって、沿川の既得用水が安定して取水できるようにするとともに、河川環境の維持・保全を図ります。また、徳山ダムの下流にある横山ダムの洪水調節機能を強化するため、横山ダムのかんがい用途を徳山ダムに振り替え、沿川のかんがい用水の補給を行います。

また、渇水に強い木曽川水系とするため、異常渇水時に緊急水を木曽三川に補給できるようにします。



▲平成6年7月 揖斐川渇水状況(平野庄橋付近)



▲平成16年10月揖斐川通常の流れ(平野庄橋付近)

徳山ダムの御利益ってー3

新規利水

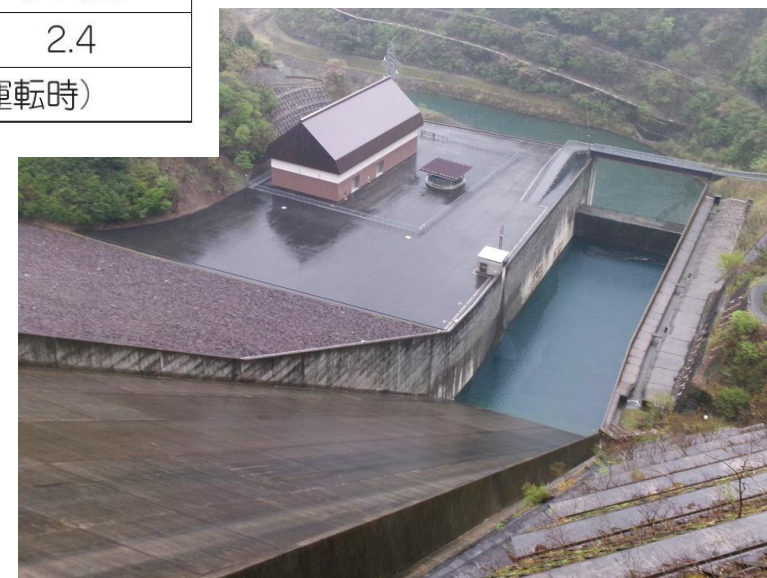
徳山ダムの貯留水を利用して新たに、岐阜県、愛知県および名古屋市の水道用水として最大4.5m³/秒、岐阜県および名古屋市の工業用水として最大2.1m³/秒を取水できるようにします。

目的	供給区域	開発水量(m ³ /s)
水道用水	岐阜県	1.2
	愛知県	2.3
	名古屋市	1.0
	小計	4.5
工業用水	岐阜県	1.4
	名古屋市	0.7
	小計	2.1
合計		6.6

発電

徳山ダム直下流の徳山発電所において、16万1千9百kWの発電を行います。

	中部電力(株)徳山水力発電所	
	1号機	2号機
発電方式	ダム水路式	ダム式
最大出力 (万kW)	13.9	2.4
	16.19(同時運転時)	



徳山ダムの御利益って？－4

認可最大出力：161,900kW

(1、2号機同時運転時の最大) ※ 1

1号機最大出力：139,000kW

1号機常時出力：－kW

2号機最大出力：24,300kW

2号機常時出力：5,290kW

※ 1 「設備能力としての最大出力は164,000kWあるが、水位を最高まで上げての試験はできていないので、認可されている最大出力は161,900kW」



最大使用水量：100.40m³/s

(1、2号機同時運転時の最大)

1号機最大使用水量：82.38 m³/s

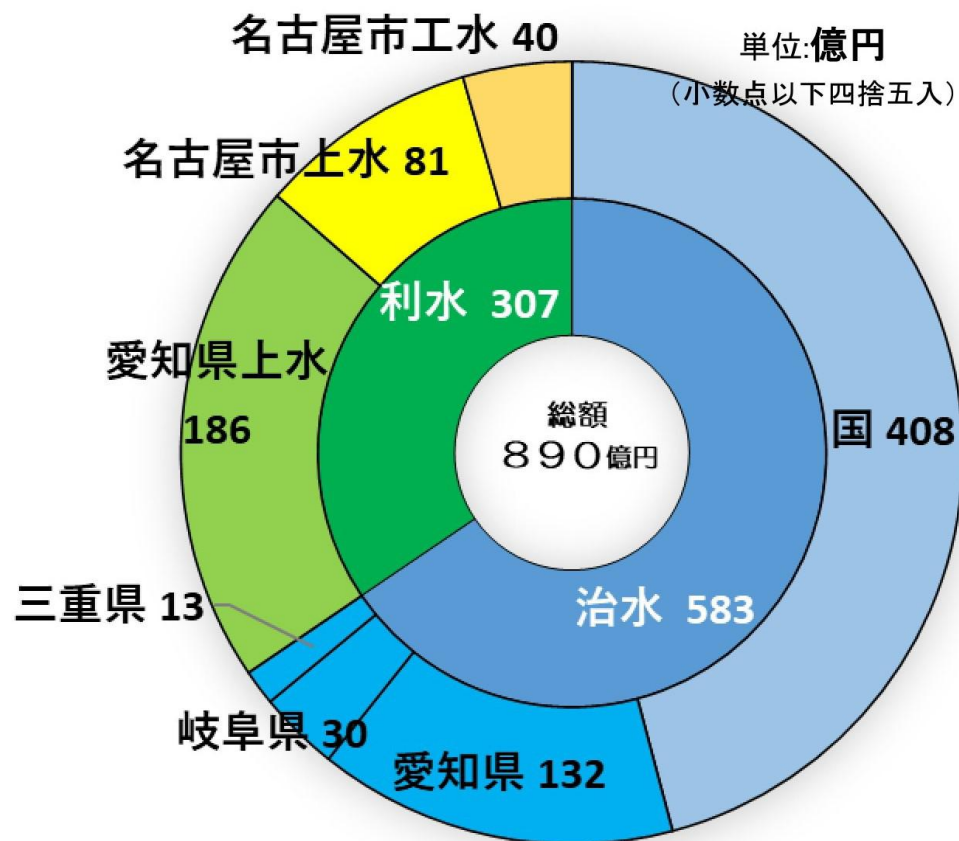
2号機最大使用水量：18.97 m³/s

最大使用水量でフルに発電すると発電容量1140万m³は、約30時間でなくなる。

最上流部なので、集水域が小さい。普通の晴れの日流入量は13 m³/sとか14m³/s程度。1140万m³を回復するには長い期間を要する。

河村市長の一人芝居で進んでしまう導水路事業

木曽川水系連絡導水路事業・負担金



・民主党政権下の「ダム再評価」の対象とされた。そのまま塩漬け、「寝た子」状態だった。どこも必要としていないから。

・今般、「検討の場」でGOサインが出そう。

・名古屋市負担は「82億円(1割以下)」という計算で前に進める？

・他の自治体の負担は？

全国の納税者が被る負担は？

無駄づかいを断ち切る

コンコルド効果（中日新聞 2013年10月1日朝刊紙面より）

巨額の費用を投じながら商業的に失敗した英仏共同開発の超音速旅客機コンコルドに由来。

一度始めた事業が失敗だと気づいていながら、それまでつぎ込んだ費用を惜しみ、投資をやめられない状態を指す。

原発推進のため毎年、四千億円程度の予算を投じてきた日本。福島第一原発事故後も核燃料サイクル事業は堅持され、原発の再稼働も申請されている。（斎藤環 筑波大教授＝精神医学）

ムダをムダと直視することなしに「徳山ダムの有効な使い途」を論ずることは、より大きな過ちにつながる。

過去の失敗の正当化のために 未来世代にツケを回してはならない

- 徳山ダムは要らなかった…今も要らない
- 要らないものを造ってしまった**失敗を、失敗として直視し、過ちを繰り返さない**ことが肝心
- 「無駄にしないために」と、さらに無駄を重ねることとは、**未来世代に一層のツケを回す**こと
これこそ**究極の**やってはならない「**無駄づかい**」

今こそ「損切り」の英断を

- ・**岐阜県**に「導水路の御利益」はない（「東濃・加茂地区の渇水対策に役立つ」はウソ）。費用負担と環境破壊だけの導水路は要らない。
- ・**名古屋市・愛知県**は、導水路の本体着工前に（＝撤退負担金ゼロ円）、現在の事業実施計画からの「撤退」を